【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成21年11月26日(2009.11.26)

【公表番号】特表2009-504174(P2009-504174A)
【公表日】平成21年2月5日(2009.2.5)
【年通号数】公開・登録公報2009-005
【出願番号】特願2008-526569(P2008-526569)
【国際特許分類】
Ａ２４Ｄ　1/02　(2006.01)
Ｄ２１Ｈ　27/00　(2006.01)
Ａ２４Ｄ　1/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ２４Ｄ　1/02
Ｄ２１Ｈ　27/00　Ｄ
Ａ２４Ｄ　1/10

【手続補正書】
【提出日】平成21年10月5日(2009.10.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
縦軸線を有するタバコロッドと、
前記タバコロッドを取り囲み、少なくとも２０Ｃｏｒｅｓｔａ単位の空隙率を有し、室温まで冷却された時にゲル化するゲル化フィルム形成組成物を用いて印刷された少なくとも１つの層を各々が有して該タバコロッドに沿って離間した複数のバンドを有し、かつ該バンドを通る紙の空隙率が０から約１５Ｃｏｒｅｓｔａ単位の範囲に入る包装紙と、
を含むことを特徴とするシガレット。
【請求項２】
約２０Ｃｏｒｅｓｔａ単位を超える空隙率を有する紙ウェブと、
前記ウェブ上の複数のバンドと、
を含み、
前記バンドは、互いにほぼ平行あり、かつ該バンドの幅を超えるがシガレットタバコロッドの公称長さ未満の公称距離だけ離間しており、各バンドは、室温まで冷却された時にゲル化するゲル化フィルム形成組成物を含み、かつ少なくとも２つの層を有し、該バンド及び下に重なる紙を通る空隙率は、０から約１５Ｃｏｒｅｓｔａ単位の範囲内である、
ことを特徴とするシガレット包装紙。
【請求項３】
各バンドの層が、水溶性フィルム形成化合物を含むことを特徴とする請求項２に記載のシガレット包装紙。
【請求項４】
各バンドの層が、０．５ｇ／ｍ^{2}から１５ｇ／ｍ^{2}の範囲の複合被膜重量を有することを特徴とする請求項２または請求項３のいずれか１つの請求項に記載のシガレット包装紙。
【請求項５】
第１の層が、シガレット包装紙に接触し、第２の層が、該第１の層上にあることを特徴とする請求項２から請求項４のいずれか１項に記載のシガレット包装紙。

【請求項６】
水と、
約２０重量％から約５０重量％のフィルム形成化合物と、
を含み、
４０℃から９０℃の範囲の温度で約０．１Ｐａ・ｓ（１００ｃＰ）未満の粘性、及び約２３℃の温度で約０．２Ｐａ・ｓ（２００ｃＰ）を超える粘性を有する、
ことを特徴とする、シガレット紙のための印刷組成物。
【請求項７】
バンド付きシガレット紙を製造する方法であって、
シガレット紙を第１の印刷ステーションに進める段階と、
フィルム形成組成物を加熱する段階、
前記加熱したフィルム形成組成物をパターン化グラビアシリンダに付加する段階、
前記進んでいるシガレット紙を前記パターン化グラビアシリンダに接触させる段階、及び
前記フィルム形成組成物を、該フィルム形成組成物が前記シガレット紙の平面度を乱さないように該シガレット紙の表面に接触させることによってゲル化させる段階、
を含む、２０から５０重量％のフィルム形成化合物の粘性水溶液を含むフィルム形成組成物の第１の層を印刷する段階と、
前記フィルム形成組成物の少なくとも第２の層を前記第１の層上に印刷する段階と、
を含むことを特徴とする方法。